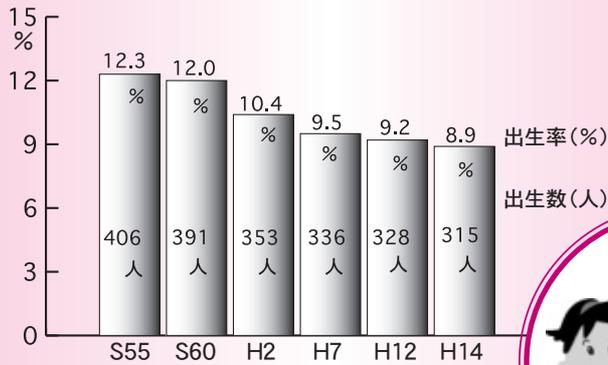


目で見える都留市の赤ちゃんの状況  
事業の紹介

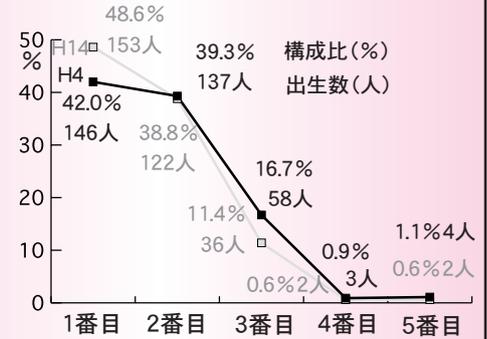
①年次別出生数(赤ちゃんの状況)

都留市も出生率が減少し少子化時代となり、地域で子どもたちをみる機会が減っています!!



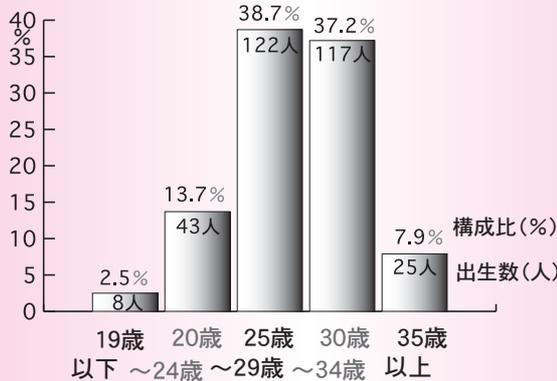
③出生順位別割合

出生した子はその母親の何番目の子にあたるかを示す出生順位は3番目以降の割合が12.6パーセントで10年前と比較して6パーセント減少しています。



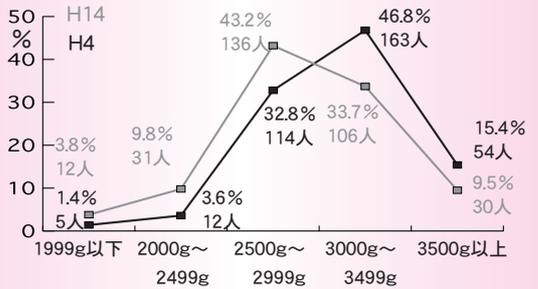
②母親の年齢別に見た出生数

母親の出産年齢は30歳以上が全体の45パーセントを占めています。晩婚や不妊などで出産年齢が高くなっていると考えられます。



④体重別出生数

10年前に比べ3000グラム台が減り、2000グラム台で出生する赤ちゃんが増えています。これは妊婦を取り巻く環境の変化(喫煙、食生活)などが影響し、母体で十分に発育できない状況が考えられます。また、現在では医学の進歩で小さくても発育ができます。しかし、子育てをする親は体重の増加などさまざまな心配を抱えています。



- 親子の健康づくり(体、心、食)の充実
- 母親自身の自己実現ができるための仲間づくりを支えるシステムづくり
- 母親同士、子ども同士がふれあう機会づくり
- 地域の中で子育てを見守るための交流や応援してくれる人や場を整える

**赤ちゃんに関する事業の目的**  
上記の統計結果や日ごろのお母さんたちの相談の中から核家族が増え、兄弟も少なく、地域で子どもが減り、周囲でいつでも何でも相談できる環境は年々薄らいでいます。小さい子どもと接する機会がなく子育てのイメージがつかないまま母になり、とまどいの中、孤立化し、子育てに悩むお母さんが少なくありません。そこで、取り組みとして次の4点に重点をおき事業を実施しています。

今回は過去の出生数などの統計資料をもとに、出生状況、乳児に関する現状などを比較しながら、ウェルネス・アクションつる行動計画の目標「育児の不安を少なくしながら前向きに安心して楽しく子育てができる」を目指した事業を紹介いたします。

- 赤ちゃんに関する事業の紹介
- 新生児訪問・相談(保健師、助産師による家庭訪問や電話相談)
- 赤ちゃん広場(月2回、子育ての学習、情報交換)
- 子育て電話相談(ほっとステーション)
- 離乳食教室(月1回 調理実習と試食)
- 乳児健診(4カ月児 月1回)
- 乳児相談(7カ月児 月1回)
- 乳児一般健康診査受診票交付
- 離乳食教室参加者の声
- ※普段子どもと二人きりなので、離乳食をどうしたらよいかわからないので不安でした。参加することでいろいろ知ることができてよかったです。他のママさんたちと話ができて充実した時間が過ごせました。
- ※日ごろどうしたらよいのか分からないことなどを相談できて不安が解消しよかったです。
- ※同じ月に生まれた子どもをもつママたちとお話ができ、不安が解消できました。
- ※新しい友達ができて、楽しかったです。新しい離乳食メニューを覚えることもできました。

問合先  
いきいきプラザ都留  
健康推進課  
☎(46)51113